

科目名	母性看護Ⅲ (妊婦・産婦・褥婦および新生児の看護)				DP1、DP2、 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 母子看護	時間数	12時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	女性のライフサイクルの中でも、妊娠・出産・育児は女性とその家族において重要な出来事である。母子とともに正常な経過をたどり、対象者自身がセルフケア行動をとることができ、健康を自ら増進していけるように支援する必要がある。一方で、妊娠・分娩・産婦・新生児期には劇的な身体的・心理的变化が起こる。この過程が順調に進まないと、母子の生命や健康が脅かされる可能性があることを踏まえ、それらの支援が行えるような看護を学ぶ。						
到達 目標	1. 妊娠・分娩・産褥・新生児の正常な経過に合わせた日常生活の援助が理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥期の異常時の特徴をとらえ、観察の視点を理解できる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～6	妊婦の看護	妊娠の届け出と母子健康手帳、妊婦健康診査（受診頻度・診査内容）、保健指導と相談（保健指導の目的と方法、集団・個人指導、妊娠初期・中期・後期の保健指導）				講義 演習	外部講師
	分娩各期と産褥・新生児への看護	入院時の看護（分娩開始時の特徴・入院時診察・入院オリエンテーション） 分娩各期の看護（分娩進行状況の観察・基本的二一ドと充足の援助）					
		褥婦の看護（観察・清潔・休息と運動・産褥体操・便・授乳指導・退院指導）					
	新生児の看護	新生児の看護（出生直後の看護、出生から退院時までの看護、育児指導と退院後の支援、新生児医療）					
	新生児の沐浴技術	新生児の沐浴と清拭試験					
試験					試験		
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 14 母子看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							